

2022年4月13日

輸送動向について（2022年3月分）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、福島県沖地震等の影響を受け、積合せ貨物、紙・パルプを除く全ての品目で前年を下回った。

自動車部品は、半導体不足および東南アジアからの部品調達困難により各社が生産調整を行った影響で減送となったほか、エコ関連物資は、建設発生土の輸送が2021年7月に終了したため前年を下回った。農産品・青果物は、北海道地区の夏季干ばつによる作柄不良に伴い、玉葱を中心に低調に推移した。

一方、積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回ったほか、紙・パルプは、前年に需要低迷に伴う生産調整および2021年2月の福島県沖地震による影響を受けた反動で、前年を上回った。コンテナ全体では、前年比95.1%となった。

車扱は、前年に比べ気温が低く推移し灯油を中心に石油が増送となった。車扱全体では、前年比101.3%となった。

コンテナ、車扱の合計では、前年比96.9%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,758	1,848	95.1%	18,485	18,838	98.1%
車 扱	748	738	101.3%	8,171	8,153	100.2%
合 計	2,505	2,586	96.9%	26,656	26,991	98.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	132	149	-17	88.7%
	化学工業品	151	160	-9	94.2%
	化学薬品	116	119	-3	97.6%
	食料工業品	261	275	-14	94.9%
	紙・パルプ	205	197	8	104.2%
	他工業品	116	132	-16	88.0%
	積合せ貨物	294	280	14	104.9%
	自動車部品	55	75	-20	73.0%
	家電・情報機器	31	32	-1	98.0%
	エコ関連物資	39	58	-19	67.8%
	その他	358	371	-13	96.3%
コンテナ計	1,758	1,848	-90	95.1%	
車 扱	石油	500	495	5	101.0%
	セメント・石灰石	121	133	-12	91.2%
	車 両	85	74	11	114.0%
	その他	41	36	5	115.9%
	車 扱 計	748	738	10	101.3%
合 計		2,505	2,586	-81	96.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)